

## 令和5年度3学期始業式 式辞

新年明けましておめでとうございます。学校長の川崎芳徳です。

いよいよ、令和6年、辰年、西暦2024年がスタートしました。

元気な皆さんと再会できたことを、大変嬉しく思っています。

朝から正門で、皆さんの笑顔での挨拶から大きなエネルギーをいただきました。ありがとうございました。

元日から能登半島地震、2日には羽田空港で事故、3日には北九州市で食堂街が大火事と、正月三が日が惨事に見舞われました。皆さんの身内の方や、お知り合いの方は被害に遭われていないでしょうか。

さて、どんな冬休みを過ごされましたか。充実、納得、そして楽しい17日間だったでしょうか。年の初めに、どんな一年にしていくか、皆さん、是非、ビジョン・未来像を描いてください。

アメリカ大リーグのドジャースと10年間で一千億円を超える契約を交わした大谷翔平選手が、高校1年生の時に作った目標達成シート「マンダラチャート」は有名になりましたね。将棋盤と同じ81マスの中央には、「ドラフト1位指名8球団」と書かれています。

自らが描いた方向へ、全細胞、エネルギーは向かい、そこに到達します。今朝、皆さんは、芦国を目指して家を出発されたので、芦国に無事到着したのです。それも、決められた時間内に到着しているのです。ぼんやり歩いたり、行き当たりばったり、適当に電車やバスに乗っていても、時間内に目的地に到着することはできません。限りある人生の時間内に、目指すところへ到達できるよう、そして途中で迷子にならないよう、ビジョン・未来像・目指すところを描いてください。

その際、2学期の終業式での「ノミの法則」のお話・・・忘れてしまった人は、芦国のホームページで「校長室より」というところにアクセスしてくださいね・・・自らのビジョン・未来像・目指すところを描くとき、自らの可能性に、他の誰でもない、自分自身で「蓋」をしてしまわないよう心がけ、自分の力を信じて大ジャンプ、突き進んでください。

皆さんは、もちろん、ひとりひとり、それぞれの道、人生を歩んで行かれます。将来の職業もさまざまでしょう。ただ、「人として」生きる私たちが向かっていくべき境地、目的地、言い換えれば、「人生の目的」「生きる意味」については共通しているのではないのでしょうか・・・私は、「人生の目的」「生きる意味」とは、「人としていただけた『命』に深く感謝しながら、可能な限り自らを高め、獲得した力で、少しでも世のため人のために貢献していくこと」だと、常々考えています。

「世のため人のために貢献していくことが『人生の目的』なの？」と、変

に思う人もいることでしょう。実は、私たちは、自分の行いや発言が、他の人の役に立った、他の人の幸せに貢献できた、と確認、実感できたとき、最高の“幸福感”を得ることができるとのことです。人は、他の人の幸せが自分の幸せにつながるよう創られているのです。他の人を憎んだり、攻撃しては、決して真の幸福感を得ることができないよう創られているのです。もし、憎しみあつたり攻撃しあつたりすることで、皆が真の幸福感を得ることができるよう創られていたなら、すでに人類は滅亡し、人は、誰一人この地球上に残っていないでしょう。

日々の様々なストレス、辛い日々も、この「人生の目的」・・・「人としていただけた『命』」に深く感謝しながら、可能な限り自らを高め、獲得した力で、少しでも世のため人のために貢献していく・・・ここに向けた、まずは、“可能な限り自らを高める”ための有益な「鍛錬」の機会だと解釈すれば、自分の置かれている境遇への不満、愚痴を繰り返すことなく、気持ちが整い落ち着き、着実に前へ前へ進んでいけるのではないのでしょうか。たとえば、予測困難で先行きが見通せない、変動、不確定、複雑、曖昧な、Volatility、Uncertainty、Complexity、Ambiguityの頭文字を取って、「VUCA（ブーカ）」と言われる時代にあっても、心豊かにたくましく生き抜いていけるのです。

そして、皆さん、知っておいてください。「これが私の『運命』なんです。どうしようもないのです」といったことを、ときどき耳にします。これは大きな誤りです。「運命」とは、決して、最初からどこかで誰かに勝手に決められているものではなく、読んで字のごとく、自らの「命」を「運ぶ」ものであり、自らが主体的に関わり、デザインしていくものなのです。自らの「命」を、ビジョン・未来像・目指すところを明確に描きながら着実に「運」んでください。「命」を「運」んだ道筋を振り返って見たとき、その足跡こそが「運命」なのです。

とりわけ、6年次の皆さん、52日後が卒業式です。残された芦国生活をどのように、そして卒業後にどんなビジョンを描いていますか。大切な一度の人生を、どうデザインしていますか。

まずは、自分が自分を大切に扱い、自分を信じ、頑張っている自分を自分でしっかり褒め、他の人との比較ではない、オンリーワンである自分の人生を主体的に生き抜いてください。ならば、四日後に待っている大学入学共通テストを恐れる必要など全くないのです。自分らしく自分の力を自分のペースで発揮することに専念してください。「人生の目的」への通過点であり、自らを高める貴重な経験です。全てうまくいく、「できる、できる、できる！」の精神でメンタルリハーサルを繰り返し、このストレスをも楽しむ気持ちで、突破、突破です。皆が応援しています！決して一人ではありません。

それでは、今年も、気持ちを爽やかに保ち、笑顔を大切に・・・「笑う門には

福来たる」・・・笑顔に人が集まり、情報が集まり、幸福を引き寄せます。福の神は笑顔が大好きです。「クイックスマイル」を忘れず、物事を斜めに見ずフラットな心で過ごしてください。そして、もし、困ったこと、悩ましいことがあれば、決して一人で抱え込まず、ご家族はもちろん、先生、友達に相談しながら解決し、皆で前進していきましょう！

ここに集う私たちは、芦国を通して深いご縁で結ばれた仲間です。友達の幸せが、自分自身の幸せにつながっている「思いやりの心」「利他の心」で、どのようなルーツであろうとが、「人として」正しい道を求め、歩み、さらに向上・発展していきましょう！

皆さんにとって、素晴らしい飛躍の年となりますことを心より祈念し、令和5年度3学期始業式の式辞とします。

令和6年1月9日

兵庫県立芦屋国際中等教育学校長 川崎 芳徳